

2018年4月8日(日)

バードウォッチング入門①

～さえずる鳥を観察しよう～

春になると、縄張り宣言やメスへの求愛のために様々な鳥がさえずるようになります。鳥たちの美しいさえずりを聞きながら、それぞれの特徴や違いを観察しました。



最初にレクチャールームで資料説明。さえずりの役割やさえずる鳥の特徴について紹介しました。



最近園内で確認された鳥のさえずりを確認。ボイスペンを使ってそれぞれの鳴き声を聞きました。



まずは淡水池で虫を捕まえるために飛び交うツバメの観察。聞こえるのは地鳴きのみで、さえずりは聞こえませんでした。



テーマの鳥ではありませんが、干潟でシギ・チドリ類の観察。春の渡りが始まっていて、オオソリハシギの夏羽を観察できました。



ヨシ原池では、旅鳥のシマアジが観察できました。秋と春に見られますが、春はオスの繁殖羽がよく目立ちます。



園路でキジバトが歩いていました。テーマの鳥ですが、エサを探している様子で、鳴き声を聞くことはできませんでした。



土路石川河口部ではカンムリカイツブリが見られました。堤防から離れた場所にいましたが、夏羽がよく目立っていました。



枝先にホオジロのオスがとまっています。地鳴きをくり返すばかりで、さえずってはいませんでした。



観察の終盤で、さえずっているウグイスが観察できました。枝先にとまっています。姿がはっきりと見られました。



ウグイスは藪内などの目立たない場所でさえずることが多いので、じっくりと姿が見られてラッキーでした。

実際に聞くことができたさえずりはウグイスのみでしたが、テーマの鳥以外にもカンムリカイツブリの夏羽や旅鳥のオオソリハシギ、シマアジが見られ、春ならではの野鳥観察を楽しむことができました。